

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標が整備計画の目標達成へ向けた指標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が県民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 関連事業は基幹事業との一体性が見られる。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が見込まれる内容となっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 基幹事業の必要性が整理されている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連事業の目的が明確である。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

1) 事業の内容に関し、地元に対する以前説明が行われ合意形成が図られている。

○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年02月21日

計画の名称	安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	秋田県												
計画の目標	通学路における安全・安心な歩行空間を確保するとともに、都市の円滑な交通を確保し、まちの活性化を支援する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,708	A	5,708	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	通学路合同点検において指摘・公表された通学路における、安全・安心な歩行空間確保率の向上 歩道未設置の通学路において、歩行空間が確保された延長の割合。有効幅員（2m以上）確保延長より算出。 (歩行空間確保延長(m)) / (整備計画区間全延長(m)) × 100 (%)	0%	0%	39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
「秋田県国土強靱化地域計画」に基づき実施される要素事業：A01-001～003												

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	98	151	35	516	195
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	98	151	35	516	195
前年度からの繰越額 (d)	0	13	58	28	365
支払済額 (e)	85	106	65	179	371
翌年度繰越額 (f)	13	58	28	365	189
うち未契約繰越額 (g)	11	40	28	204	104
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.22	24.39	30.1	37.5	18.57
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地補償交渉において、地権者が行う移転先の選定に不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となった。	既設水道管の移設工事にあたり、入札不調で工事の着手が遅れ年度内の完了が困難となった。	用地補償交渉において、地権者が行う移転先の選定に不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となった。	用地補償交渉において、地権者が行う移転先の選定に不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となった。	用地補償交渉において、地権者が行う移転先の選定に不測の日数を要したため、年度内の完了が困難となった。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年02月21日

計画の名称	安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	秋田県												
計画の目標	通学路における安全・安心な歩行空間を確保するとともに、都市の円滑な交通を確保し、まちの活性化を支援する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,708	A	5,708	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	通学路合同点検において指摘・公表された通学路における、安全・安心な歩行空間確保率の向上 歩道未設置の通学路において、歩行空間が確保された延長の割合。有効幅員（2m以上）確保延長より算出。 (歩行空間確保延長(m)) / (整備計画区間全延長(m)) × 100 (%)	0%	0%	39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
「秋田県国土強靱化地域計画」に基づき実施される要素事業：A01-001～003												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	川尻広面線(横町)	現道拡幅 L=0.2km	秋田市						2,550		-	
	P10から移行																			
	A01-002	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	八幡根岸線(根岸町)	現道拡幅 L=0.3km	横手市						1,484	1.33	-	
	H29新規																			
	A01-003	街路	一般	秋田県	直接	秋田県	S街路	改築	新屋土崎線(旭南)	現道拡幅 L=1.1km	秋田市						1,674		-	
	P10から移行																			
											小計						5,708			
											合計						5,708			

参考図面(防災・安全交付金)

